

# 星空案内

# 2

2024

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

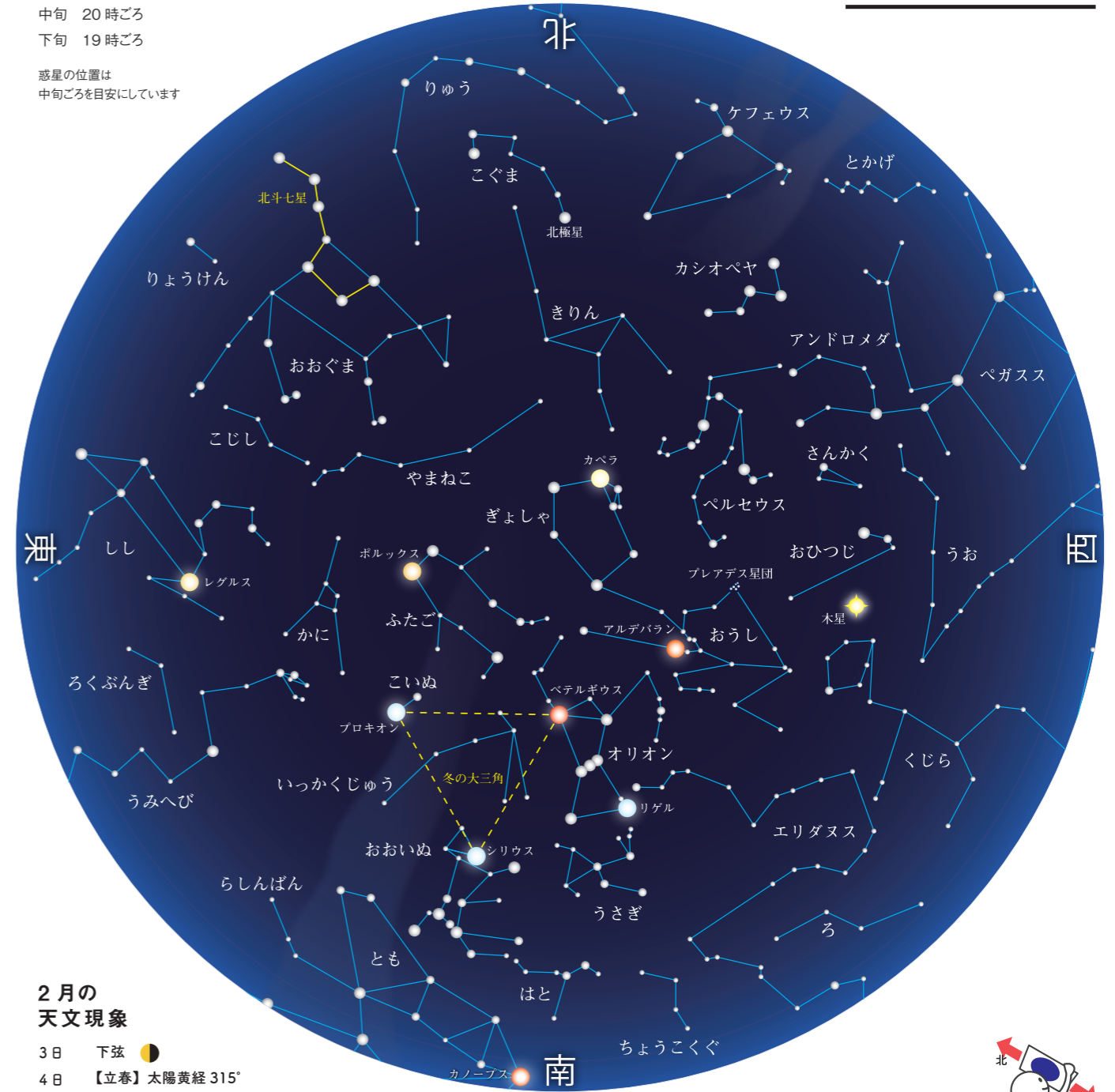
2024年2月

上旬 21時ごろ

中旬 20時ごろ

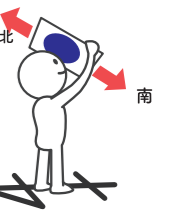
下旬 19時ごろ

惑星の位置は  
中旬ごろを目安にしています



## 2月の天文現象

- 3日 下弦
- 4日 【立春】太陽黄経 315°
- 10日 新月
- 17日 上弦
- 19日 【雨水】太陽黄経 330°
- 24日 満月



上の星図は、空にかざして  
実際の方角と合わせてご覧ください。

2月3日は節分です。「季節を分ける」という意味があり、立春だけでなく、立夏、立秋、立冬の前日全てを指すそうです。季節の行事として、豆まきをする、恵方巻きを食べるといった催しが根付いていますね。暦の上では春ですが、寒さからすると2月が本格的な冬といえるのではないのでしょうか。私は浜松育ちですが、大学生活は雪の降る地域で過ごしました。冬の空はどんよりと暗く、雪雲が広がっている日が多かったです。浜松は冬でも晴れの日が多く、天体観望ができます。星空を楽しむには、とてもいい地域です。ぜひ天文台へお越しください。

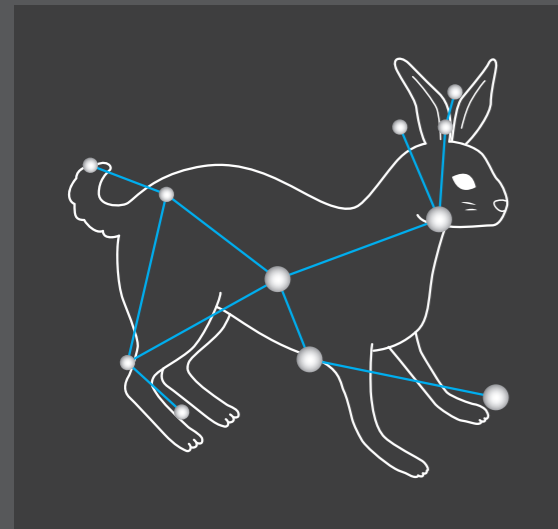


## うさぎ座

冬の星空をながめると、まず目に付くのはオリオン座です。その足元で控えめに輝いている星座が、うさぎ座です。

天気の良い日にオリオン座の下を見ると、案外ウサギらしい形で星を結ぶことができます。うさぎ座は、現代の星座の基礎を築いたプトレマイオス（2世紀ギリシャの天文学者）の設定した星座の中に含まれており、古くからうさぎ座として認識されていたものと思われます。うさぎ座は、たしかにウサギらしい形ですが、上にあるオリオンの方が目立っていたことでしょう。「オリオンに接した星座」として付随的な扱いであったのではないかと考えられます。

神話としてうさぎ座の物語は伝わっていませんが、いくつかうさぎ座の由来が考えられています。一つは狩人オリオンが好んだ獲物というものです。もっとも理解しやすい由来です。さらに、オリオンの足元に犬に追われて逃げているウサギというものもあります。この犬はもちろんおおいぬ座です。紀元前3世紀ごろ、詩人アトラスの天文詩の中に「オリオンの足元を逃げ回り、大犬シリウスに追われるウサギ…」とうたわれているようです。また、野ウサギが増えて田畑を荒らして困っていた人たちが、おまじないとしてオリオンの下にウサギを置いたという言い伝えもあります。狩人オリオンや大犬がウサギを追いはらってくれると考えたそうです。



神話としてうさぎ座の物語は伝わっていませんが、いくつかうさぎ座の由来が考えられています。一つは狩人オリオンが好んだ獲物というものです。もっとも理解しやすい由来です。さらに、オリオンの足元に犬に追われて逃げているウサギというものもあります。この犬はもちろんおおいぬ座です。紀元前3世紀ごろ、詩人アトラスの天文詩の中に「オリオンの足元を逃げ回り、大犬シリウスに追われるウサギ…」とうたわれているようです。また、野ウサギが増えて田畑を荒らして困っていた人たちが、おまじないとしてオリオンの下にウサギを置いたという言い伝えもあります。狩人オリオンや大犬がウサギを追いはらってくれると考えたそうです。

<参考> 「全天星座百科」 藤井旭著・河出書房新社

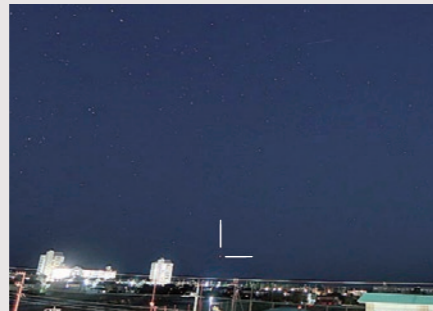
## 今月の見どころ星どころ

### カノープスを見て長生きに

「カノープス」は恒星の名前です。りゅうこつ座のα星で、マイナス0.7等と全天でシリウスに次いで明るい恒星です。浜松では、地平線すれすれに見え、緯度の高い福島県以北だと見ることが難しい星です。高度が低いので、昇ってから沈むまでの時間が短い星です。さらに、高度が低いと大気の影響を受けてオレンジ～赤色に見え、本来の明るさよりも暗く見えます。全天第2位の輝きを見るためには、かなり南方に行かなければならないということになります。

古くから「カノープスを見ることができると長生きする」「カノープスが見られると縁起がいい」という言い伝えがあります。中国では、この星を「南極老人星」と呼び、この星を目にすることができれば健康で長寿にあやかることができる、おめでたい星としていました。さて、このカノープスですが、当天文台の観望時間帯での見ごろは2月～3月です。オリオン座が南中した直後ぐらいからの観察がおすすめです。ですから、実際のところは秋の深夜ぐらいから観察することができます。南の低い空に雲がないことが条件になります。この冬はぜひ長寿星カノープスの観察に挑戦してみてください。

浜松市天文台から見たカノープス（線のところ）▼

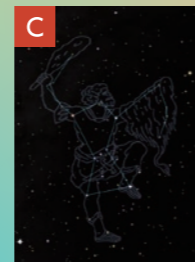


文・浜松市天文台  
喜澤 俊輔



## 星空クイズ

冬の星座の代表であるオリオン座。ひとつの星座に1等星が2個あるオリオン座は、形が整って見つけやすく、冬の星空探しの目印にもなります。では、オリオン座の星の並びはどれでしょうか？（ステラナビゲータ11で作成）



答えは中面へ



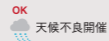


# 浜松市天文台

## イベント情報

催しはすべて事前予約制となります。浜松市天文台ウェブサイトよりお申し込みください。

ウェブサイトはこちら



### 2/3・10・17・24 星空観望会

宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 18:30 ~ 20:30

会場 天文台屋上

申し込み 開催日3日前の水曜13時から受付(30分ごと先着20組)



### 2/4 太陽・昼間の星観望会

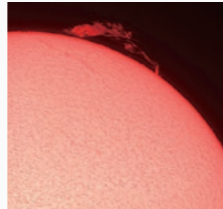
日

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や昼間に見える天体を観望します。

時間 14:00 ~ 16:00

会場 天文台屋上

申し込み 開催日4日前の水曜13時から受付(30分ごと先着20組)



### 2/10 天文ミニ講座

土

星座と当夜の見どころについて、星のソムリエがやさしくお話しいたします。

時間 17:30 ~ 18:20

会場 2F 講座室

申し込み 2/7(水)13時から受付(先着10組)



### 2/16 親子天文教室

金

小学生親子向けの天文教室です。お話と観望がセットになっています。

時間 18:30 ~ 20:30

会場 2F 講座室、天文台屋上

申し込み 2/7(水)13時から受付(1時間ごと先着10組)



### 2/17 めざせ!望遠鏡マスター

土

望遠鏡を使って天体を見てみよう!小中学生対象の簡単な取り扱い説明と実習を行います。

時間 17:30 ~ 18:30

会場 2F 講座室

申し込み 2/14(水)13時から受付(先着6人)



### 2/18 ソムリエ観望会(冬の星座)

日

星空案内のガイドツアー付き観望会です。新人の星のソムリエ®がご案内します。

時間 18:30 ~ 20:30

会場 天文台屋上

申し込み 2/14(水)13時から受付(1時間ごと先着9組)



裏面のクイズの答え: C

## 第42回 ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展 2/2[金] ~ 3/10[日]

たくさんの応募の中から、特別賞と入選の作品を展示しています。子供たちの豊かな思いが表現された力作ばかりです。ぜひご覧ください。

会場: 浜松市天文台ホール(五島協働センター3F)



# 浜松科学館

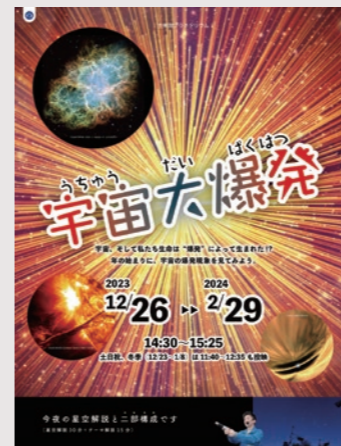
## プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「生解説プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



生解説プラネタリウム



### 宇宙大爆発

宇宙、そして私たち生命は“爆発”によって生まれた!7年の始まりに、宇宙の爆発現象を見てみよう。

~2/29 14:30~15:25 土日は11:40~12:35も投映

キッズプラネタリウム



### すぐにみつける!オリオンざ

今夜、オリオン座はどこに見えているかな?おうちの人と一緒に探してみよう!宇宙旅行にも出発!

~3/17 10:30~11:10 土日祝のみ投映

大型映像



### 銀河鉄道の夜

15:50~16:40

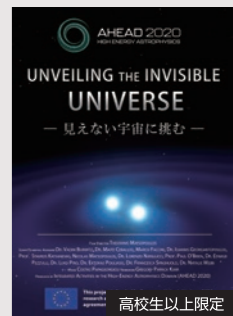


### 海竜王 モササウルス

制作・配給: D&D ピクチャーズ 制作協力: NHK エンタープライズ/映像提供: NHK

土日祝のみ上映 13:15~13:55

夜の科学館 特別投映



### 見えない宇宙に挑む

海外の研究機関によって制作された「見えない宇宙」を迫力の映像で紹介する大型映像作品を特別上映。

2/9 18:50~19:45

## ちょこっと大人な話

[参考]

- 中央宝石研究所 <https://www.cgl.co.jp/knowledge/episode/09.html>
- 株式会社明治 [https://www.meiji.co.jp/quality/r\\_nk/unique\\_technology/cacao/](https://www.meiji.co.jp/quality/r_nk/unique_technology/cacao/)

column

文・浜松科学館 天文チーム

星座を語る上では欠かせないギリシャ神話ですが、古代ローマ時代にはそれを元にローマ神話が作られました。数あるローマ神話の中の1つに、酒神バッカス(ディオニュソス)の物語があります。

お酒が大好きだったバッカスは、悪酔いした挙句、従えていた虎に「近くを通りかかった者を襲ってもいいぞ」と言ってしまう。そこにアメシストという美しい女性が通りかかります。アメシストは月の女神ディアナ(アルテミス)に会いに行く途中でした。虎がアメシストに襲いかかるうとした、まさにその時、天から見ていたディアナがアメシストを水晶へと変えました。

バッカスはその美しい水晶を見た途端、自分の犯した罪の重さに気づき、反省をしました。そして、お詫びのしるしに手に持っていた葡萄酒を水晶へ注ぎ始めると、きれいな紫色に染まってきました。こうして宝石のアメシスト(紫水晶)が誕生したといわれています。とてもユーモアあふれる素敵な神話ですね。

アメシストは2月の誕生石にもなっており、お酒が飲めるようになる20歳のお祝いに贈る人もいます。他にも「人生の悪酔い

を避けてくれる」ともいわれ、道を逸れないように冷静さを保つ力を与えるそうです。今月はバレンタインデーがありますが、お酒を使ったウイスキーボンボンという一口サイズのチョコレートがありますね。チョコレートの原料はカカオです。学名は「Theobroma cacao(テオブロマ・カカオ)」といいます。テオブロマとは、ギリシャ語で「神様の食べ物」という意味だそうです。

みなさんも神様になったつもりでチョコレートを召し上がってみては? くれぐれも悪酔いには、お気を付けて。



アメシスト。2月の誕生石の一つ



カカオの実。チョコレートに使うのは、中にある豆。

